

福岡教区今年度の目標…「信仰の伝達」  
小教区今年度のテーマ…「学び、伝えよう、家庭から私たちの信仰を」

永遠の今

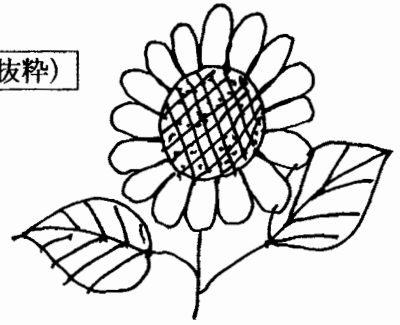


主任司祭 遠山満

先日、ある大学で、教員免許更新の為の講習会に参加しました。講習を受ける前、講習会にそれほど期待していたわけではありませんでしたが、講習を受けてみて、仰天しました。何に驚いたかと言えば、講師陣の魅力もその一つでありましたが、もう一つ、現在の教育界で先生方が重点的に取り組んでいらっしゃる、その事柄に仰天したのです。講師がおっしゃったことで、驚いたのは、次のようなことです。「学校教育法の第22条と29条に、それぞれ幼稚園の目的と小学校の目的が明記されています。幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培う場であり、小学校は、義務教育として行われる普通教育のうち、基礎的なものを施す場です。それぞれ役割があるので、お互いの立場、違いを理解し、尊敬して頂きたいと思います。幼・小・中、互いの違いを理解して、尊重する必要があります。お互いを尊重しながら、子供の為に連携して行って下さい。目の前の子供の教育に苦心されると思いますが、その際、将来を見通した上で、教育をして行って欲しいと思います。将来を見越して、今、この場で、どう働きかけるかを考えて行って頂きたいと思います」。私が感動したのは、子供の20年後、30年後を見越して、今、この子にどのように関わればよいのか、それを思って関わって下さいと講師が言われた所でした。私は、日本の教育界に、このような考え方があること自体に驚きました。

ところで、これまで私は、色々な所で、「今、ここを大切にして下さい」と言うことを聞いた時、「このような考え方は、ややもすれば刹那的な生き方に繋がらないのだろうか」と疑念を挟んでいた所がありました。しかし、今回の講習は、目からうろこでした。私達、信仰を持つ者は、さらにその先を見越す必要があります。それは、今、ここでの関わりと永遠の命です。私達が関わる子供たち、他者が、永遠の命に入るためには、今、ここで、どのように関われば良いのかということです。また、自分が永遠の命に入るためには、自分自身とどのように関われば良いのかということです。私達は、そのようなことを考えながら、相手と、また自分自身と関わって参りましょう。





開催日時：2015年7月25日(土) 16:00～17:30

#### 1. 信者会連絡網について

- ・届け出締め切り7/12としていたが、現在までの提出は名簿上の世帯数340戸の内105戸。名簿に記載のない提出数が12枚。
- ・今後の対応として、班の名簿に提出状況が分るようにして班長さんに伝え、未提出の方の状況を把握するように努める。事務の伊藤さんにも確認する。
- ・具体的には、8/23までに役員が手分けして班長さんに確認し、郵送が必要な方の宛名書きも行い会長に渡す。班の割り振りは後日決める。9月に拡大信者会を行い、状況を報告する。

#### 2. アウグスチノ祭について

- ・開催日を8/30(日)から8/29(土)ミサ後18時～20時に変更する。そのためミサの開始を17時とすることで遠山神父と今田神父の了解を得た。
- ・内容は、ソーメン流し、焼き鳥(水口さんに依頼)、おにぎり、枝豆、かき氷、綿菓子。アルコールについては検討が必要。
- ・会費制とし、高校生までは無料、大学生以上500円とする。人数把握のために申込書に記入してもらうこととする。
- ・招待者(期間中に結婚、受洗、転入した方)への招待状は畠山さん担当。  
司教様や近隣司祭にも案内状を出す。

#### 3. その他

##### (1) 召命の集い時の出店依頼について

笹丘からは、カレーと綿菓子で決定。企画書の提出(提出期限9/23)は前田(美)さん担当。

##### (2) 救急箱を信徒会館に常備するように準備する。

#### 4. 今後の予定

- ・8/9(日) 聖母の被昇天前の大掃除・・・分担表作る パンと飲み物準備する
- ・聖母の被昇天のミサ 8/14(金) 19時、 8/15(土) 10時
- ・8/22(土) 16時 役員会
- ・8/29(土) アウグスチノ祭

### わたしの信仰のルーツ

ルカ 松尾 進

私の家族は、私以外全員幼児洗礼です。結婚する時の条件は、生まれてくる子どもたち全員に洗礼を受けさせることでした。三人の子どもに恵まれましたが、子どもたちは全員大名町教会で青木保神父様から洗礼を受けました。私は子守のために家族と一緒に大名町教会に通っていましたが、洗礼を受けようとは思っていませんでした。

平成元年4月、島根県出雲市の島根医科大学に転勤になりました。出雲に赴任して一年経った翌年の3月、出雲教会の主任司祭だったスペイン人のパリオヌエボ神父様から、「カトリックの勉強をしませんか」というお話があり、高校の音楽の先生ご夫妻（プロテスタントの信者だったようです）と三人で日曜日の午後7時から、勉強することになりました。その勉強は毎回約30分間で、その後ワインやお酒をいただいて帰るとい、私向きはかなり甘いというか、いい加減な勉強会でした。そして一年経った頃、神父様は、「今度のご復活の時に洗礼を受けましょう」と言われました。私の父はその当時は熱心な天理教の信者で、私も元信者でした。少し迷いましたが、九州にいる父には出雲のことまで分からないだろうということにして、1991年の復活徹夜祭で洗礼を受けました。その日は妻の誕生日でした。息子は小学三年生に上がる頃でしたが、「父ちゃんはずっと信者だと思っていたのでビックリした」と言っておりました。すでに初聖体を受けていた彼は、私の前でご聖体をいただいていたようですが、当然私もご聖体を拝領していると思っていたようです。最後に父が笹丘教会で受洗しました。「どんな宗旨で葬式をしてもらいたい？」と私が質問した時、父は「できればカトリックで葬式をしてもらいたい」と答えました。2006年4月16日の復活の主日、86歳の父はドワイヤ神父様から洗礼を受けました。父が洗礼を受ける前に神父様は、「ご家族で毎週ミサに来られていますから、勉強はいいでしょう」と言われました。これまた寛大なお計らいでした。こうしてわが家は家族全員信者になって主日ミサに揃って与ることができるようになったのです。





## 編集後記

先日、広報委員会終了後、委員ふたりで事務所にカギを返しに行った時、英国風の紳士に出会った。恐らく神父様だろうと思い、とりあえず「こんにちは・・・」といった。英語で話しかけてみたいと「I don't know what's your name」のフレーズが浮かんできた。しかし、失礼だろうと思って「I don't know・・・う～ん・・・name・・・」とかなんとか言っていたら、すぐ理解され、「わたしは、ヒルデンです。ドワイア神父様の前にいました。」とおっしゃった。「Oh! I know, only your name!」なんて子どものようなことを言っではしゃいだ。九州博物館に行かれるとのことだった。笹丘教会に10年以上も信仰生活を送っているのに、ヒルデン神父様を知らないなんて失礼してしまったが、暑くて、腰からくる神経痛で疲れている私には、福音を感じる出来事となった。(J-N)